



古志原小学校だより

えがおいっぱい

令和6年度No.21

3月21日

(文責 校長 小林 敏朗)

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われますが、本当に時間が経つ速さに驚いています。気がつけば、3学期も終わろうとしています。

3月13日(木)5時間目に6年生が、卒業プロジェクトの一つとしてこれまでお世話になった校舎の清掃活動を行いました。トイレや体育館倉庫、昇降口や玄関周辺、音楽室、1年間過ごした6年生教室やベランダなど、感謝の気持ちを込めて取り組みました。時折楽しそうな(?)声が聞こえていましたが、熱心に清掃活動をしていました。校舎を歩いていると「校長先生、見てください。すごい汚れです。」とトイレの便器をきれいにしようとする子どもたちもいました。このような活動は毎年のように行われていますが、このような活動を通して、お世話になった校舎や教室、場に対する感謝の気持ちを膨らませてほしいなと思いました。



今年度の卒業式から…凛とした空気の中で

3月18日(火)に令和6年度卒業式を行いました。1週間くらい前から天気予報を見るたびに「雨だ〜」「雪マークがついている!?!」と半分以上好天をあきらめていましたが、当日の午前中を中心に雲は多少あるものの青空の天気になりました。これは間違いなく卒業生みんなの日頃の行いのおかげです。そして、式場の体育館やこの1年間を過ごした教室など、校舎の中は卒業生の門出を祝福するあたたかい空気に包まれていました。



卒業証書授与



お別れの言葉と歌



卒業式後の教室の様子（1組）

今年度の卒業生は113名です。卒業生の入場時から一人一人が引き締まった表情で式に臨みました。そして、一人一人がしっかりとした姿勢、態度で卒業式を行い、体育館全体が凛とした空気に包まれました。この空気はきっと卒業生はもちろんのことですが、在校生代表として参加した5年生の態度、姿勢から醸し出されているものと感じました。式では、卒業生担任が一人一人を呼名する場面では「はい」と爽やかな大きな声で返事をしたり（体育館全体に響く声がとても多かった印象です）、

堂々とした態度・姿勢で卒業証書を受け取ったりしました。また「お別れの言葉と歌」の場面では卒業生も5年生も力強い声で歌ったり呼びかけをしたりしました（こちらも体育館全体に響き渡る声でした）。凛とした空気の中で、とても素敵な卒業式を行うことができました。卒業式後は各学級において最後の学級活動を行いました。担任の先生のお話を聞いたり、この1年間を振り返る映像を見たり楽しい時間を過ごしました。最後になりましたが、卒業生の保護者の皆様、お子さまのご卒業おめでとうございます。また、式当日はお忙しい中お出かけいただき、ありがとうございました。卒業式は終わりましたが、我々教職員はこれからも113名の卒業生一人一人の応援団です！自分の夢に向かってしっかりとがんばっていくよう、これからも応援し続けたいと思います。

3学期、そして1年間大変お世話になりました！

まず右の写真をご覧ください。この写真は、3月6日（木）に1年3組教室で行われていた学級会の様子です。この学級会では「お楽しみ会で何をするか？」という議題で、司会はこどもたちが務め、友達を指名しながら上手に会を進行していました。こどもたちは自分の意見を意欲的に発表していて感心して見ていました。そして一番感心したのはこどもたちの成長ということです。小学校に入学しておよそ1年間（正確には11か月くらい）。入学して4月には鉛筆の持ち方やひらがな練習をしていたこどもたちが自分たちで会を進行し、みんなの意見をまとめようとしていること、改めてこどもたちの成長の速さはすごいなと思いました。1年間の中でたくさんのことを吸収し、どんどん成長していますよね。もちろん一人一人はそれぞれのスピードで、それぞれの方法で、それぞれの道のりで成長していると感じます。このことは1年生に限ったことではありません。どの学年の子どもも一人一人が成長しています。644人のこどもが644通りのスピードや道筋でしっかりと成長しています。こどもたちの成長の仕方は「みんなちがって、みんないい」と思っています。成長していない子は一人もいません。その成長を見逃さず、その都度認めたり誉めたりしていく学校でありたいなと最近つくづく思います。



3学期、今年度の登校日は来週月曜日（24日）で終わりになります。この土曜日、日曜日でも、春休みになってからでも、お子さんと今学期や1年間の成長を振り返っていただくと喜びます。

来週火曜日から、春休みになります。この春休み、時間を有意義に使い、安全に過ごしてほしいと思っています。そして、元気に令和7年度を迎えてほしいと思います。

最後になりましたが、この1年間、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。何かと至らぬ点が多くあり、ご迷惑をおかけしたことと思いますが、いろいろな時に、いろいろなところで助けていただきました。保護者の皆様や地域の皆様のご理解、ご支援、ご協力のおかげで終えることができます。本当にありがとうございました。来年度、令和7年度も変わりませず、よろしくお願いいたします。